

RaDD 協同組合つばめ物流センター

「共同集荷・特定地域(特定顧客)への共同配送」



(((生活情報発信基地))) **RaDD** **CENTRAL DISTRIBUTOR DISTRICT**
RaDD(ラディーディー)は、協同組合つばめ物流センターのニックネームです。

はじめに

当組合は、近年のバブル崩壊後、経済の低迷期を迎え、「デフレスパイラル」に陥るような社会情勢、および、不良債権処理を中心とした構造改革等の影響を受けて、産地卸売業として対応すべき経営課題は多く、誠に厳しい状況にあります。

特に物流効率化については、多頻度小口配送など、物流コストが急上昇し、大企業との物流コスト格差が急拡大しております。この結果、物流問題の深刻化が中小企業の事業活動そのものに支障を与えている状況にあります。

今後、選別の時代を生き残っていくためには、共同化によって、物流の効率化を図るとともに、販売政策などへの経営資源の集中化を図っていくことが重要であると考えております。そこで、平成15年度に、「共同集荷・特定地域（特定顧客）への共同配送」の仕組みを構築し、平成16年度に、実験的事業運営事業を行い検証した。その結果、仕組みについては、問題なく、当初の成果を得た。平成17年度以降は、この成果を組合員に広く享受し、事業の拡大を推進している。

1. 事業の目的

①・ 流コストの削減および抑制

- ・ 各荷主組合員の出荷作業の軽減とスピードアップ
- ・ 運送コストの削減

②運送会社の運送コスト削減

- ・ 幹事会社による共同集荷による集荷コスト低減
- ・ 方面別運送会社絞込みによる運送コスト低減

③環境負荷軽減へ社会的貢献

- ・ 集荷車両効率化によるCO2排出量軽減
- ・ 運行車両効率化によるCO2排出量軽減

2. 仕組のポイント

①・ 組みの概要

- ・ 幹事会社が共同集荷
- ・ 運賃契約は、幹事会社と一括契約

②参加のメリット

- ・ 運賃委託費の約5%を基本として還元

③共同集荷機能

- ・ 物量の多い荷主へは、1時間1回程度の集荷
- ・ 中小量の荷主へは、1日2～3回程度の集荷
- ・ 主の出荷は、荷札を貼るだけで出荷

④システムサポート

- ・ サブルーチン提供：着店コード設定サブルーチンを提供、各組合員のシステムに組み込んで作動し、顧客ニーズに対応した荷札を作成できます。
- ・ パッケージ提供：荷札・送り状作成パッケージシステムにより、現在、手作業で実施している荷札作成・送り状作成作業がシステム化できます。

3. 事業の流れ概要

図-1に共同事業の運用の流れを示します。

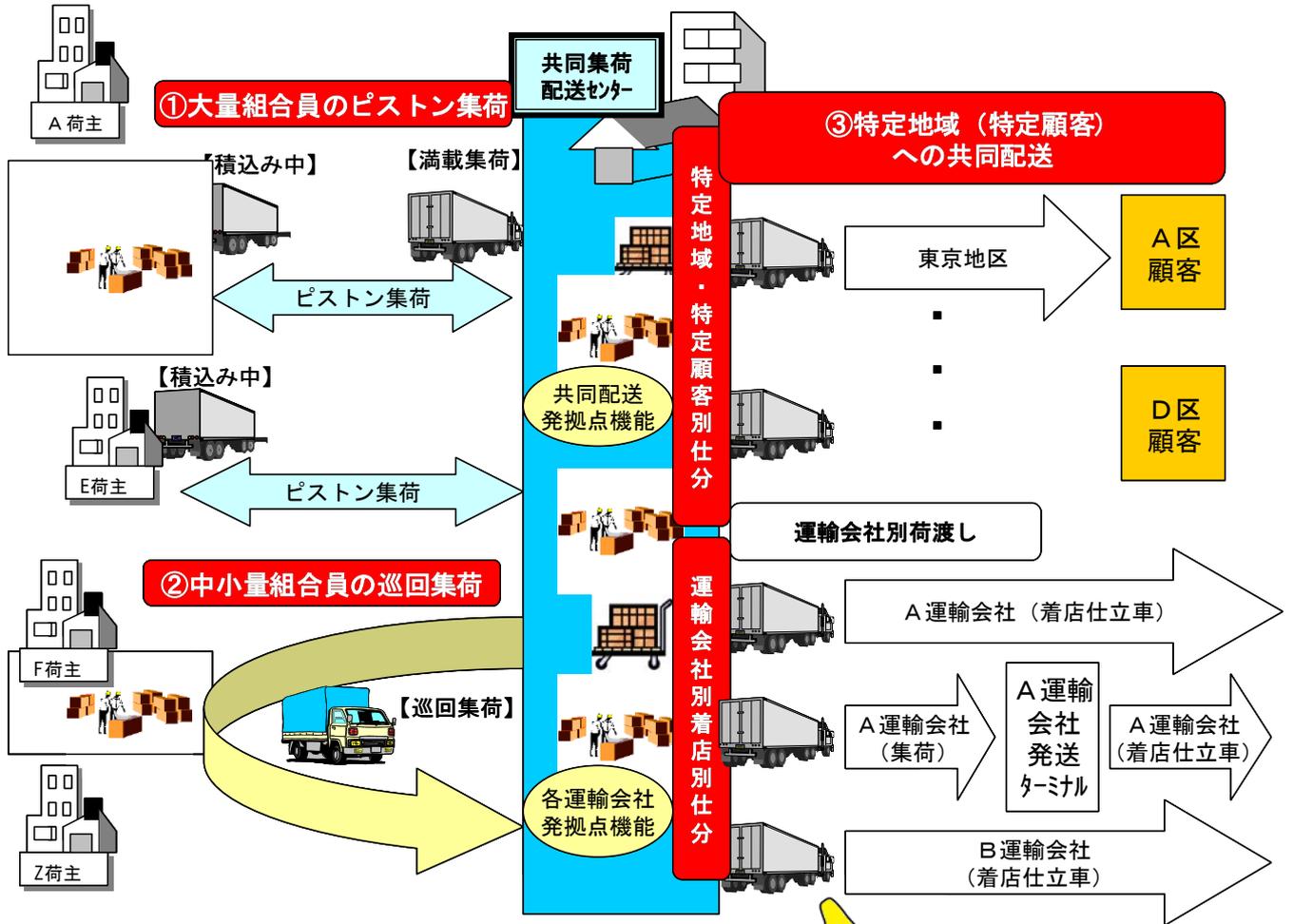
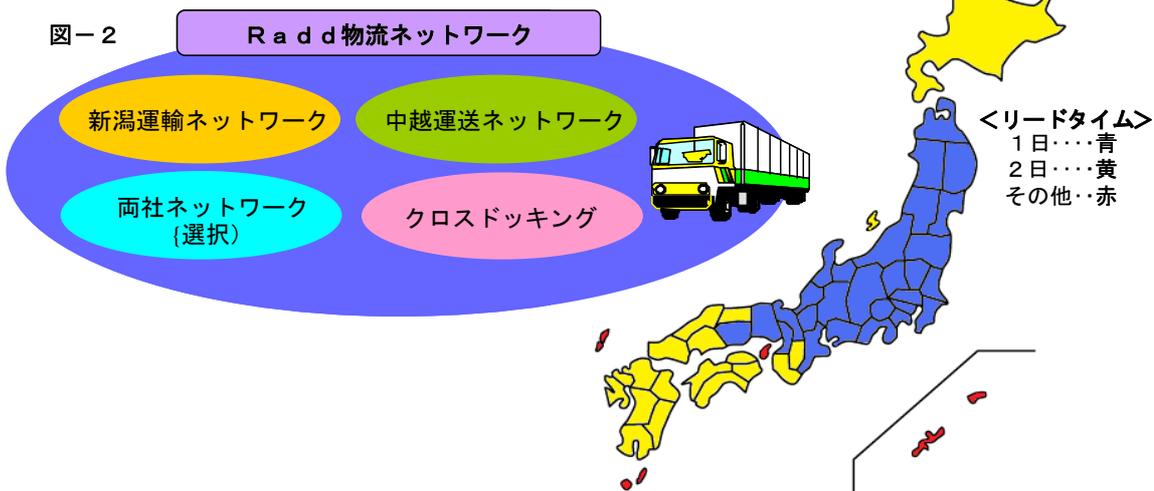


図-2



【図-3 荷札：RaDD統一項目仕様】



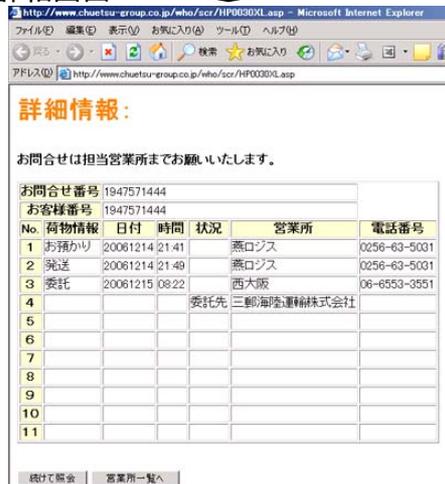
【図-4 統一送り状：全日本トラック協会仕様】



【図-5 貨物追跡照会画面】



詳細画面



4. 共同事業提供システム

全体システム機能

荷主組合員向けシステム仕様

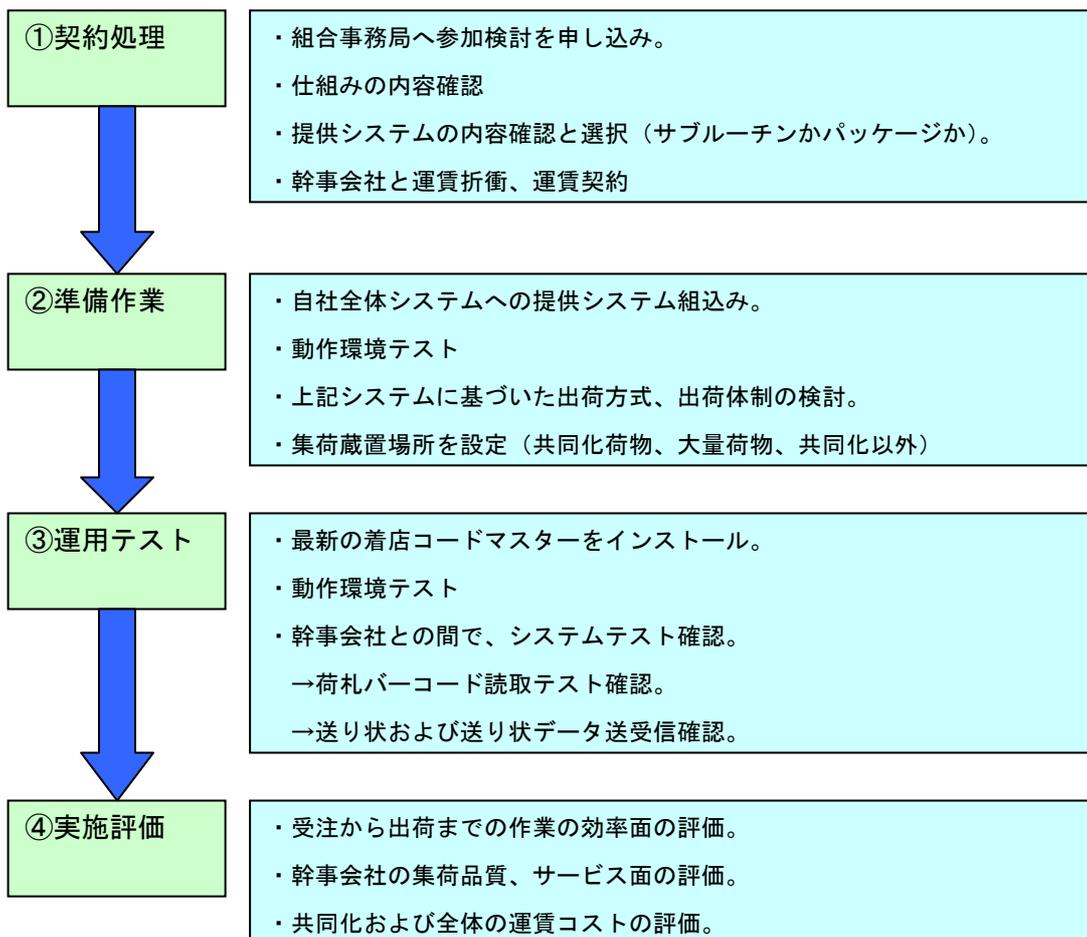
着店コード設定サブルーチン：運送会社の着店コードを検索するサブルーチンで各組合員のシステムに組み込まれて機能する。

送り状・荷札作成パッケージ：送り状と荷札を発行するシステムで、システム化されていない組合員に提供される。

E D I データ送受信パッケージ：E D I 連携およびF P D交換のサポート処理を提供する。本機能は、全組合員が活用できる。

5. 導入手順

導入手順について、以下に示します。



RaDD

協同組合つばめ物流センター



〒959-1277

新潟県燕市物流センター1丁目15番地

TEL: 0256-63-7660(代表)

FAX: 0256-63-7679

URL: <http://www.tsubame.or.jp>

Email: danchi-j@tsubame.or.jp